

2009年1月21日

ランクセスのインド現地法人、グジャラート州政府と覚書を締結

～ ゴム薬品とイオン交換樹脂工場の新設に向けた
約 5,000 万ユーロの投資と約 225 名の雇用創出～

ランクセス株式会社

ドイツの特殊化学品メーカー、ランクセス(LANXESS)のインド現地法人、ランクセス・インド有限会社(LANXESS India Private Limited)は、2009年1月11日から17日までアーメダバードで開催された「第4回 グローバル・インベスターズ・サミット・メガ・エキシビション 2009 (Global Investors' Summit Mega Exhibition 2009)」において、インド・グジャラート州政府と覚書を締結しました。

覚書は、ランクセスが2008年1月に発表したグジャラート州ジャガディアに新設するゴム薬品の生産拠点の認可に向けたもので、総額約5,000万ユーロの投資や、最先端の設備を備えたインド国内では同社最大規模の施設の建設、操業開始時の約225名の雇用創出が記されています。

また新生産拠点には、ゴム薬品工場のほかイオン交換樹脂工場を新設し、工業用水処理用製品や、半導体業界・製薬業界向けの超純水製造用製品を提供する予定です。

現在マハラシュトラ州ターネにある同社のゴム薬品工場は、グジャラート州ジャガディアに新設される製造拠点に移転します。これに伴い、ターネの生産活動は段階的に停止し、新拠点でのイオン交換樹脂工場の稼働にあわせ、2010年にジャガディアで再稼働されます。新ゴム薬品工場は、急成長するインド国内の市場および輸出タイヤ市場に製品を供給する予定です。ランクセスは、インドで唯一、ゴム薬品事業を手がける欧米企業です。

この重要なプロジェクトの拠点到インドが選ばれたことにより、今後インドへの更なる投資が期待されます。これは、急成長する将来性の高い工業化学分野に、ランクセスが注力していることを示しています。このプロジェクトの目的は、ランクセスにとって有益な成長を生み出し、グローバル市場での同社の位置付けを一層強化することです。

インド西部に位置するグジャラート州は、産業発展を進める政府から化学品メーカーへの大規模な支援がある特別優遇地域の一つです。特別優遇地域の中でも、ランクセスが新拠点設立地として選んだジャガディア工業団地は、高度な産業基盤も整備されています。

#

このリリースは、インド・アーメダバードで1月13日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。

このリリースの原文(英語)は、以下のURLにてご参照下さい。 <http://www.press.lanxess.com>

ランクセスについて

ランクセスは、世界21カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2007年の総売上は66億1000万ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 15,200人、世界中に44の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造と販売です。

ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認ください。 [http:// www.lanxess.co.jp](http://www.lanxess.co.jp)

本件に関するお問い合わせ先：

ランクセス株式会社 コーポレートコミュニケーションズ

佐野 公美

TEL : 03-5293-8005 FAX : 03-5219-9773

kumi.sano@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statement):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2009-I-J0001J)